

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島県立障害者リハビリテーションセンター

(2) 事業所の所在地

東広島市西条町田口295-3

(3) 業種

一般病院

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から平成32年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度	平成32年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	4,945	4,895 (1.0)	4,700	4,895	4,895	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成30年度は例年に比べ暖冬（前年比で気温が2～3℃高い）であったため、電気、都市ガス共に使用量が減少したと思われる。このため引き続き省エネ機器導入や省エネの啓発を行う。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度	平成32年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位（原油換算 kl）	2,052	2,031 -1.0	1993	2031	2031	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	平成30年度は例年に比べ暖冬（前年比で気温が2～3℃高い）であったため、電気、都市ガス共に使用量が減少したと思われる。このため引き続き省エネ機器導入や省エネの啓発を行う。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	都市ガス使用量の削減	1%削減	空調機の熱源である都市ガスの削減を図る。適切な温度設定の徹底や空室のスイッチを切るなど啓発に努める。
2	電気使用量の削減	1%削減	蛍光灯安定器を段階的にLED化する。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。